

目 次

		ページ
SKYLIGHT 〈今月の焦点〉	サッカーボール型分子 C ₆₀ の天文学	相原 惇一 193
EUREKA 〈研究紹介〉	分子雲コアのよりよいプローブを求めて	長 浜 智 生 201
天球儀 〈読物〉	駆け抜けて行った「新天体」たち	香 西 洋 樹 204
ASTRO NEWS 〈天文ニュース〉	NGC 4258 の高速・水メーザの発見	三 好 真 211
月報だより		213
日本天文学会 1993 年春季年会プログラム		216
シリーズ	〈天体列伝(17)〉 長周期変光星：ミラ	佐 藤 英 男 232

表紙説明

炭素電極を用いてヘリウム中でアーク放電すると、陰極の表面に、黒鉛のシートを丸めて何重にも重ね合わせた構造の巨大な炭素分子（カーボン・ナノチューブ）が生成する。カーボン・ナノチューブは 1991 年に NEC の飯島澄男氏によって発見された。強く偏光した星間塵のなかには、このような形態の炭素が含まれているかもしれない。

表紙の写真は三重大学工学部・斉藤弥八氏撮影，1 cm は 13.8 nm に相当する。

(SKYLIGHT 参照)